



Q 岡義博法律事務所報 第55号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階
 TEL (087) 821-1300
 FAX (087) 821-1833
 MAIL oka-law@kln.ne.jp
 H P <http://www.kln.ne.jp/oka-law/>

パワハラ

スポーツ界に不祥事が続いている。女子レスリングのパワハラ問題に始まり、アメリカンフットボールの反則タックル、ボクシングの判定疑惑と続き、今回は女子体操のパワハラ問題である。

これらの問題で共通しているのは、権力の集中と長期化である。また、背景にはスポーツ界独特の上下関係とか絶対服従という考え方があると言われている。

今回の女子体操界の問題についても、渦中の人々は協会の副会長、女子強化本部長の要職に長くついている。力量のある人物が要職について、力を発揮し、その競技が発展するということはあり得る事であるし、それ自体は非難されるべきものでもない。オリンピックなどで業績をあげているとすれば、それはむしろ賞賛されるべきものかもしれない。指導者として長く実績を積めば勲章ものかもしれない。

それが、何かのきっかけで誤った指導やパワハラに変わってしまうのか。時代の変化と共に指導者の考え方方が時代に合わなくなることもある。しかし、本人はそれに気づかない。周りも実績のある人に対し、注意や助

所長弁護士 岡 義博

言をすることが出来なくなってしまう。そういう雰囲気が自然にできてしまう。そして、指導者の言動がいつしかパワハラとなっていた。このようなことが多いのではないか。言動が怒鳴ったり、威圧的であったりしたら、パワハラであることはわかりやすい。しかし、そうでない場合でもパワハラはある。優しい言葉で話しても、話す人の地位や背景にある組織の大きさから、言葉を受ける側が圧力を感じることはある。

権力者はパワハラを起こさないよう早めに身を引くべきであるが、実際には難しい。パワハラは不自覚のうちに起こされる。権力者が自覚して早急に身を引くことは難しい。

従って、制度として、要職にあるものの任期を限るほかはない。長期化しないよう、任期は何期までと規則で決めておく他ない。

もっとも、規則で任期を定めても、その規則を変えてしまう者もいる。こうなると不自覚ではない。権力の座にあることを自覚した上で、その権力の座に長くいたいという事である。このような場合には、周囲の力で身を引いてもらう他ない。世論やマスコミの力には大きいものがある。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis…ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

高齢者虐待防止法という法律があります。この法律は平成14年にできた法律で、その後平成28年に障がい者虐待防止法ができています。

「高齢者」とは、65歳以上の者をいいます。それでは、65歳未満の者は救われないのでしょうか。この法律の対象にはなりませんが、介護保険法や老人福祉法などで、行政機関が対応できる場合があります。

「虐待」には5つの類型があると言われています。身体的虐待、ネグレクト（放置）、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待です。

身体的虐待とは、暴力をふるうような場合です。ベッドに縛り付けるとか、無理やり食事を口に入れるなどもこれに当たります。外から鍵をかけて家の中に閉じ込めるのも含まれます。

ネグレクトとは、入浴をさせないとか、着替えをさせないというものが含まれます。水や食事を与えないというのは、典型的なネグレクトです。冷暖房を使わせないとか、ゴミを放置したままにしておくというのもネグレクトです。家族が虐待しているのをそのまま放置しているのも含まれます。

心理的虐待は、脅かしたり、威圧的な態度をとったり、嫌がらせをしたりすることです。トイレに行けるのにおむつをあてたりするのも含みます。子供のように扱うのもそうで

す。家族の団らんから排除するのも当たります。

性的虐待は性行為を強要するのはもちろんですが、人前でおむつの交換をするなども当たります。着替えの際に下半身を裸にしたままにするのもそうです。

経済的虐待は、勝手に預貯金を使ってしまうのは当然ですが、必要なお金を渡さないとか使わせないのも含みます。病院代などの支払いをしないのも当たります。

この法律は、養護者が高齢者に対して行う虐待を対象としています。そして、「養護者」とは高齢者を現に養護するものであって、養介護施設従事者等以外のものをいうとされています。もちろん養介護施設従事者の行う虐待もこの法律の対象となります。

養護者の定義は現に養護する者となっていますが、これは日常生活において何らかの世話をすると解されています。同居の有無は問いません。別居していて世話をすれば、養護者となります。また、親族とは限りません。友人、知人でも世話をすれば、養護者になります。現に養護していない者が虐待する場合は、この法律の対象にはなりませんが、現に養護しているかどうかは、具体的な事案によって個別的に判断していくことになります。虐待に対する対応については、次号で説明します。

身近な法律シリーズ(55) 高齢者虐待防止法①



事務局 K・K

近頃自然災害が多い！

7月の西日本豪雨で、我が家家の非耕作の畑の上のため池が決壊し土砂崩れが起こった。

お盆休みに札幌から帰省した夫と災害に遭った畑を見に行つた。あったはずのみかんの木は1本も残っておらず、大変な量の土砂と流されてきた大木が横たわっていた。テレビで見る光景そのままだ。決して他人事ではない。とはいえる家や耕作地を奪われた方々の悲痛な思いは、はかりしれない。

9月6日、早朝4時、夫からのlineで札幌の地震を知る。lineの“大丈夫”的文字に安心。夫曰く、暫く停電したが、携帯電話の予備バッテリーや保存食料を備えていて良かった。との事。

皆で真剣に防災用の備えを！



ファイト!!

事務局 K・S

4月から事務局に仲間入りさせていただきました。皆様どうぞ宜しくお願ひ致します。

先日5年ぶりにこんぴらさんにお参りに行きました。5年前は2歳の娘を励ましたながら、大門から続く石畳までの約400段を登ったのを記憶しています。さて今回は?!小1になった娘に私が励まされ、御本宮までの785段を登りました。やっとついた！小6の息子は主人と奥社(1368段)まで登りました。子供達は成長したものだ。絶景と秋風に癒やされ、汗が引いたらさあ下山。予想通り、太ももはガクガク。この日、小1の娘が覚えた言葉は2つ。

「生まれたての子ジカ」「膝が笑う」
私の膝は大爆笑。

八十八ヶ所巡り

その19

75番善通寺。ご存じの通り、弘法大師空海生誕の地である。大師は善通寺の御影堂（みえ堂）の奥殿で西暦774年に誕生したと言われる。奥殿には大師産湯の水がある。



大師は幼名を真魚（まお）といい、幼い頃から学問に親しんだようである。18歳で都へ上り大学で学んだが、学問に意義を見出せなかつたものか、仏教に傾倒してゆく。20歳前後に四国を巡って修行を重ねてゆく。太龍寺の舍心ヶ嶽での修行や、室戸岬の御厨人窟（みくろど）での修行は有名である。この洞窟で修行中、大師の口の中に明星が飛び込み求聞持法の悟りを

開いたと言われている。また、洞窟から見える空と海の景色から空海という名を名乗るようになったとも言われている。

空海は四国での修行の後、24歳の折有名な「三教指掃」を著わしている。「三教指掃」とは、儒教、道教、仏教の三教を比較して仏教の優位を説いた宗教書である。

空海は仏教の神髄を学ぶため、31歳の時遣唐師として、唐へ渡った。そして、真言密教の最高峰である惠果和尚と会うことが出来た。

和尚は空海に対し、「あなたが来ることはわかっていた。あなたに密教の全てを授ける」と語ったといわれている。空海はわずか6ヶ月ほどで、密教の全てを学び、遍照金剛という最高位の称号を頂き、日本へ帰ってきた。たくさんの經典も持ち帰ったといわれている。

そして、日本で真言密教を広め、高野山を開基する。また、四国を回り、八十八ヶ所の札所を開いていくことになる。

(Y・O)

高松 ウォッチャー

以前のテミスで犬の赤ちゃん秘話を書いたが、この時、親戚の人に「赤ちゃんが生まれたって？ なんで教えてくれんのな～」と言われた。大きな勘違い。

この度、娘たちに子供が出来、本物のおばあちゃんになった。孫は本当に可愛い。

さあ、孫になんと呼ばせるか？ 悅ちゃんだよ～？ 大きいママだよ～？ とっさに出たのが「始めまして～バーバだよ～」。

最近、バーバになった友達曰く。主人がさ、「う～ん。どう客観的に見たって、うちの子が一番かわいい！」大笑い。

どこの家も似たり寄ったりだ。

事務局 E・O

色々知ることを教えようと構えていたが、娘たちは「あ～ネットで調べてるから大丈夫～」とのライン。時代は変わった。

遠くにいる次女に、度々「○○ちゃんのビデオ送って～」とおねだり。お蔭でスマホが容量不足でフリーズ。(>_<)

のんびり屋の長女は、おむつ替えの時、ベイビーのおしりにてんかふんをはたいている。思わず「あのね～、パフでお化粧してるんじゃないんだから～。さっさとしないと！」と言ってしまう。

その長女から「今日はおしつこを3回もかけられました～（男の子）」とラインがきた。そりやそうでしょうね。（*^_^*）

外部の方からの投稿です

O que sera, sera, sera ↗なるようになる♪

事務局 M・K

この度、第一子の男の子を出産しました。私はとてもビビリなので、周りの方から出産体験を聞く度に、未知の痛みに恐れおののいていました。「鼻からスイカ」って何！？絶対出るわけないじゃん！怖い（涙）という感じで…。

実際にどうだったかというと、勿論人生で一番の痛さでした。でも生まれた赤ちゃんの顔を見たら、本当に痛かったことなんて忘れてしまうんですね。不思議！

子育ては慣れないことの連続で大変なこともありますが、子供の可愛さで全て吹き飛んでいきます。

母曰く私は大変のんびり屋なので、赤ちゃんも同じくマイペースな子になるのかな？、と思ったり。ま、元気でいてくれたらそれで十分ですよね♪

